

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

福井県公立小浜病院組合 小浜病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	ド透I訓ガ	救臨感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	32,339	非該当	7：1	

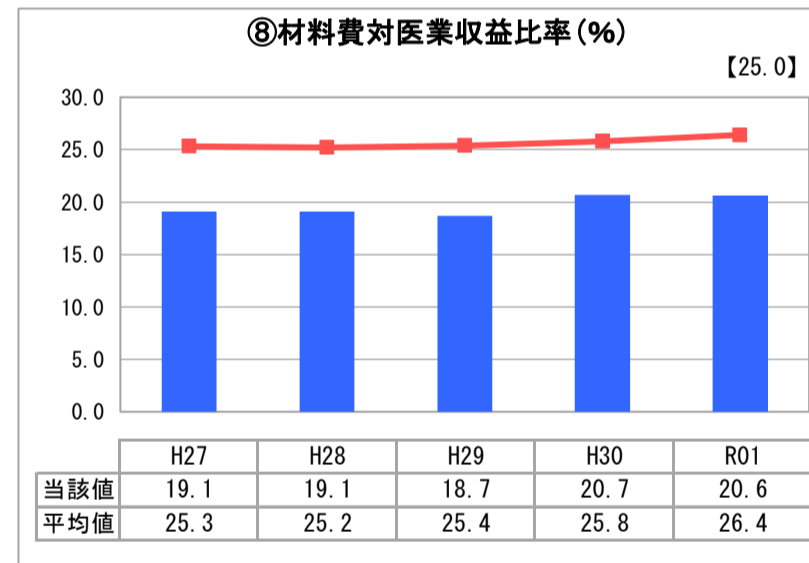
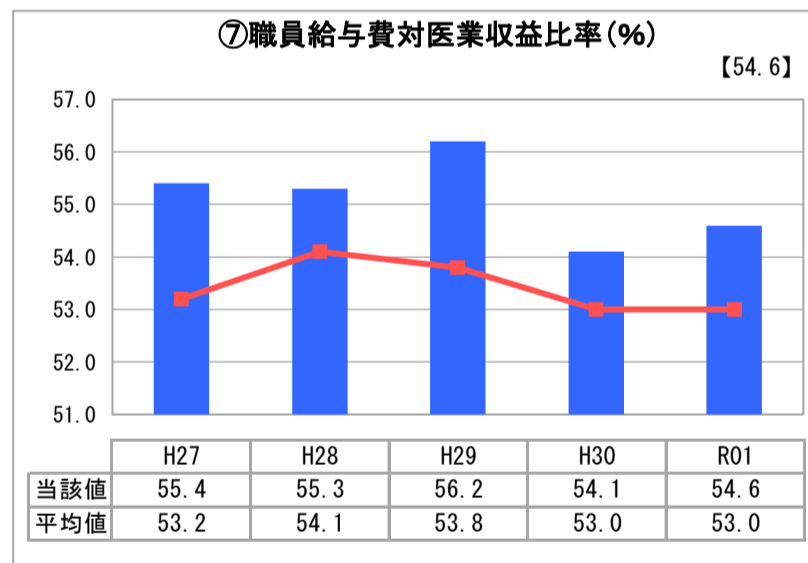
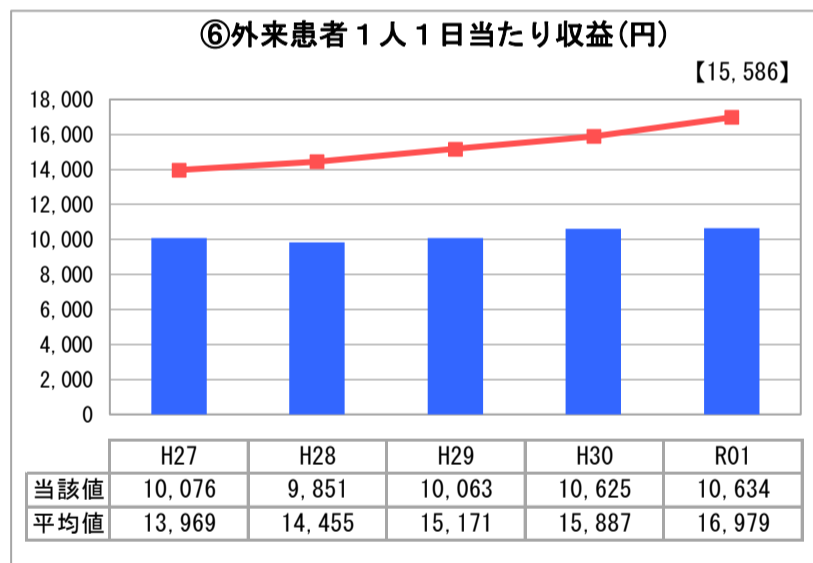
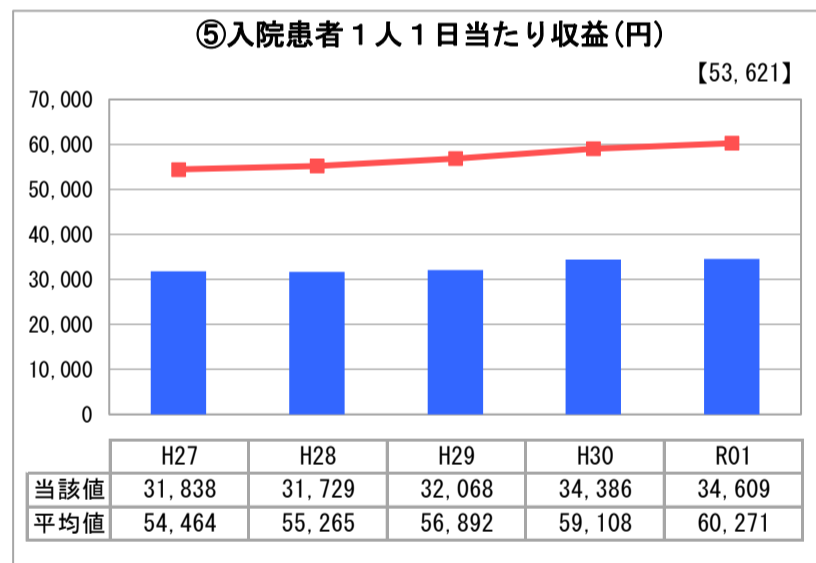
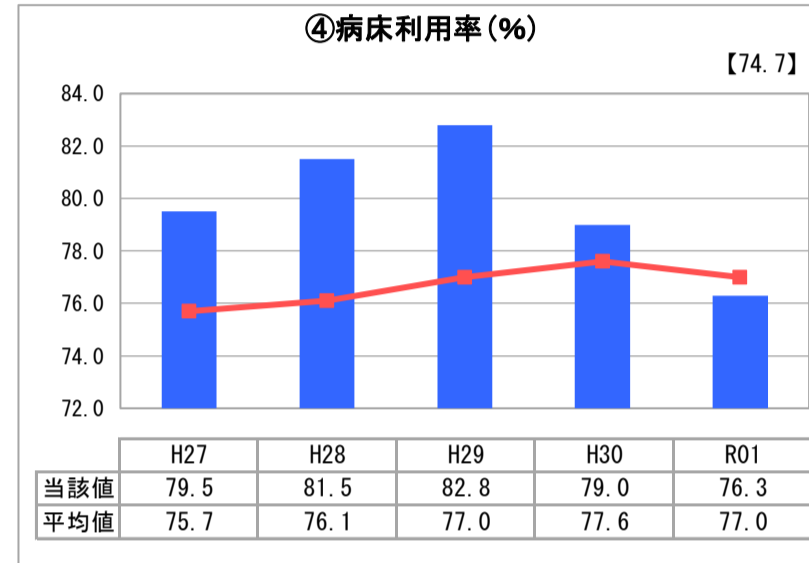
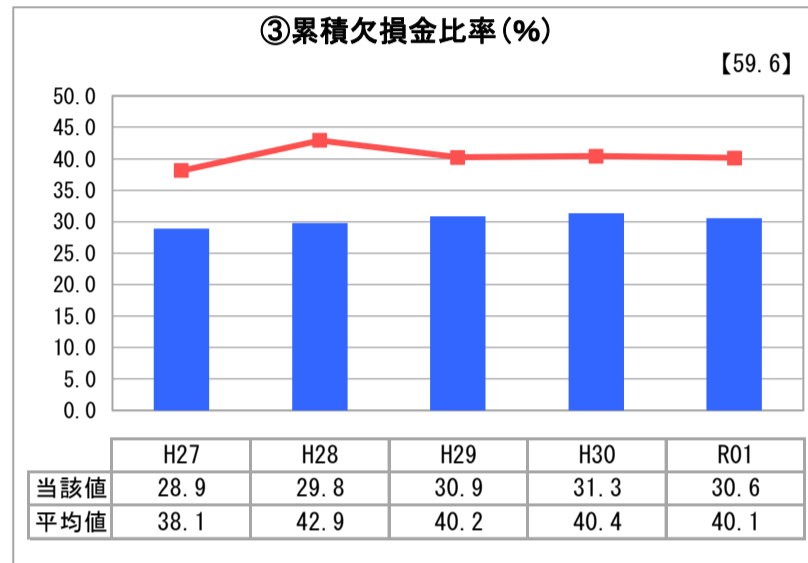
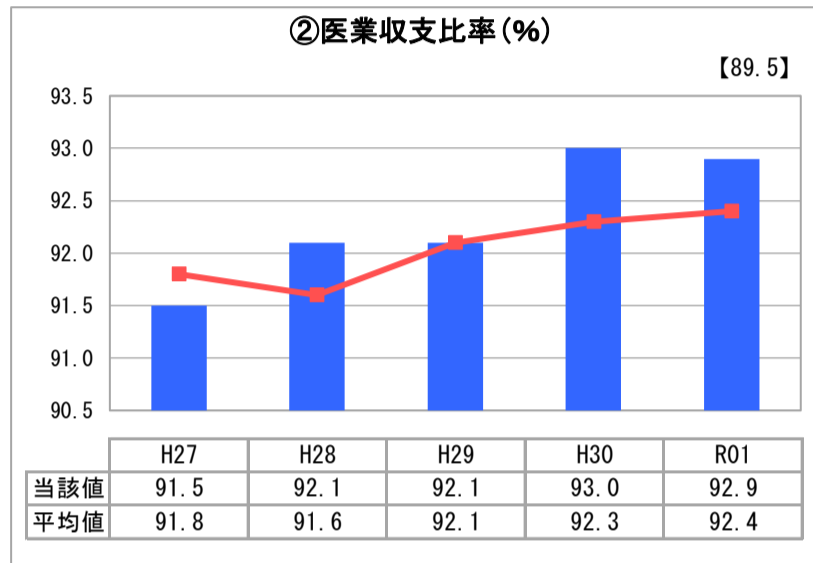
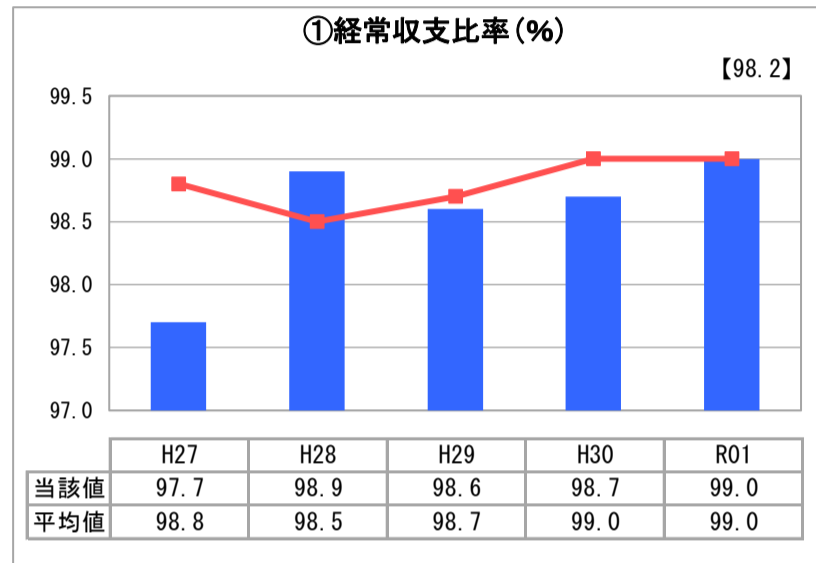
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

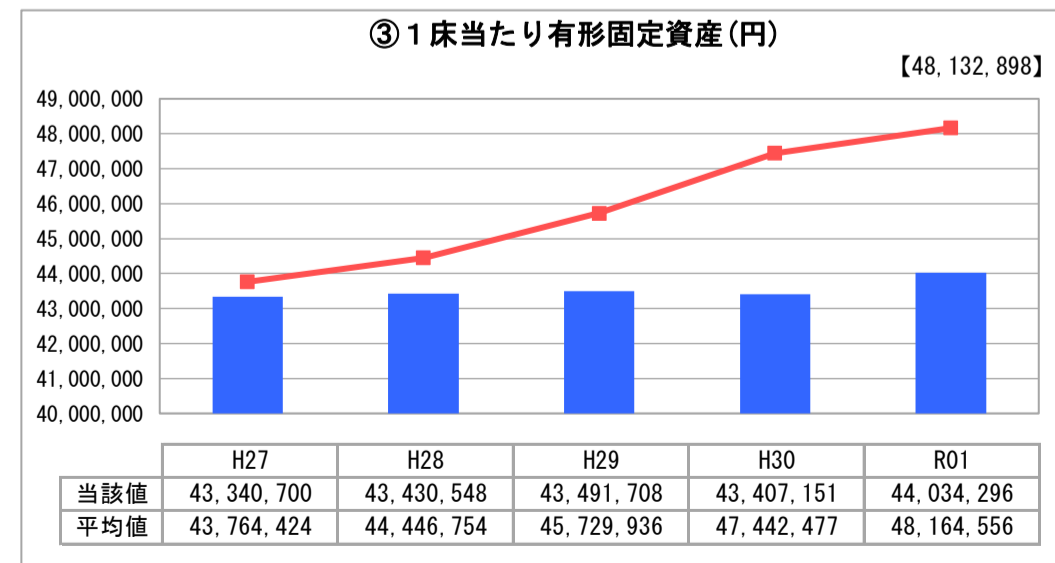
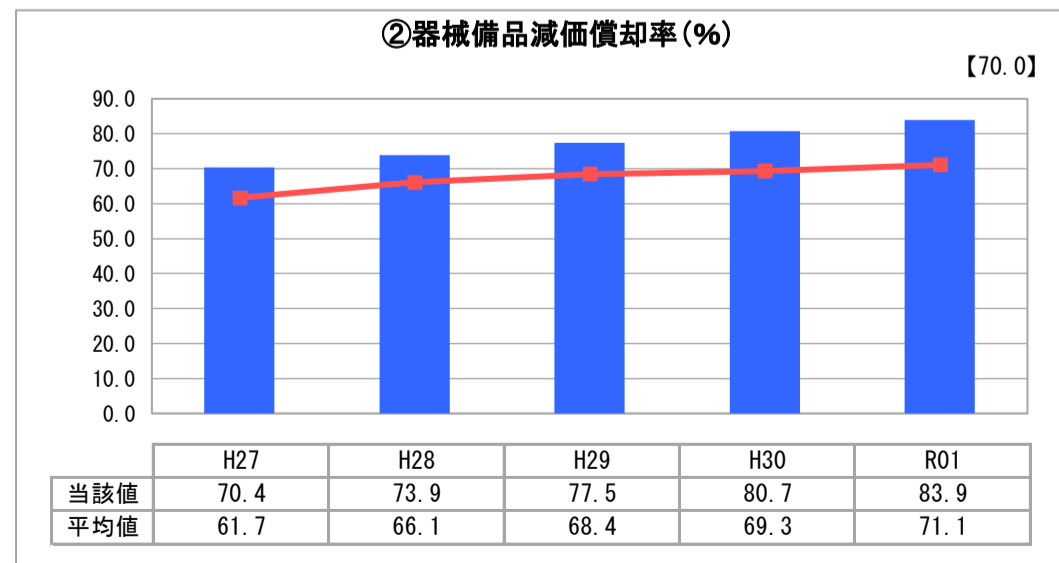
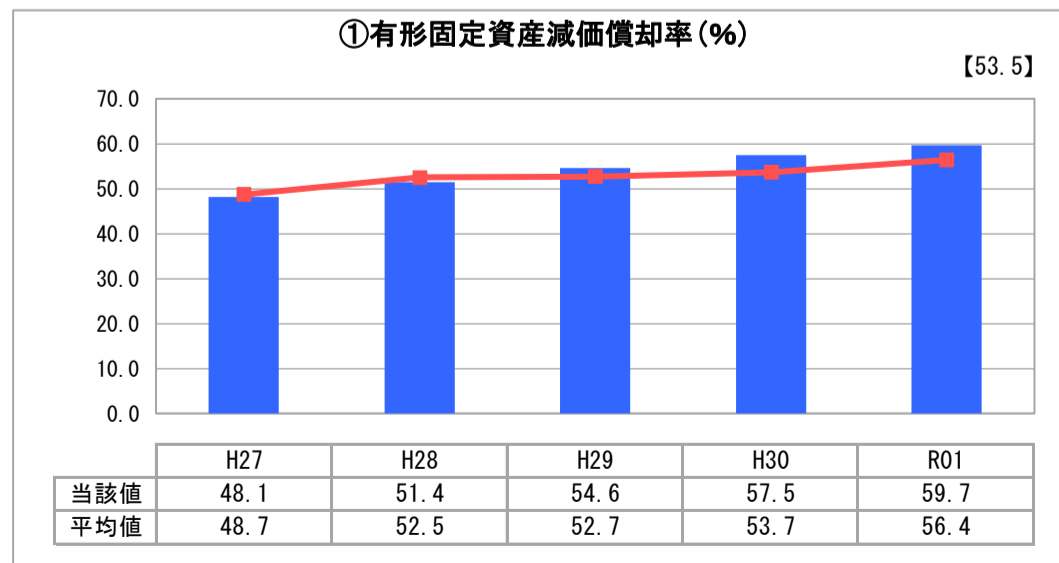
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
296	50	8
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	2	456
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
296	50	346

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

地域において、第1次医療から第3次医療までを担い、高度急性期医療から慢性期医療まで幅広い医療を提供する。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

新公立病院改革プラン（以下「新改革プラン」という。）を策定し、それに基づき数値目標を設定し事業運営に取り組んでいる。  
 ②医業収支比率、⑤入院患者1人1日当たり収益、⑥外来患者1人1日当たり収益、⑦職員給与費対医業収益比率は数値目標を達成している。  
 ①経常収支比率、③累積欠損金比率、④病床利用率、⑧材料費対医業収益比率は数値目標を達成出来ていない。  
 結果を検証し、未達成項目は目標達成に、達成項目は更なる数値向上に引き続き取り組む。

### 2. 老朽化の状況について

施設全体の減価償却（老朽化）の状況及び器械備品の減価償却（老朽化）の状況は類似病院を上回っている。  
 これは、整備事業により集中した器械備品更新の実施、また日常点検、外部定期保守の実施により、修理軽減や耐用年数の長期化を図っている影響がある。更新については、稼働状況等収益性を十分考慮し、必要と判断したものを計画的に更新していく。  
 建設投資の状況は類似病院を下回っている。  
 これは上記の影響及び経営状況に影響されている。  
 今後も、計画的かつ効率的な老朽化対策及び更新に取り組む。

### 全体総括

地域において担っている役割、地域医療構想との整合、経営状況等当院の置かれている現状や成果を検証するとともに、運営見直しの必要性についても随時検討していく。  
 持続可能な経営を維持するため、引き続き収益確保及び費用削減に努め損益改善を計り、単年度黒字を達成継続させ、累積欠損金の削減を目指す。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

福井県公立小浜病院組合 レイクヒルズ美方病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	12,562	第2種該当	15:1	

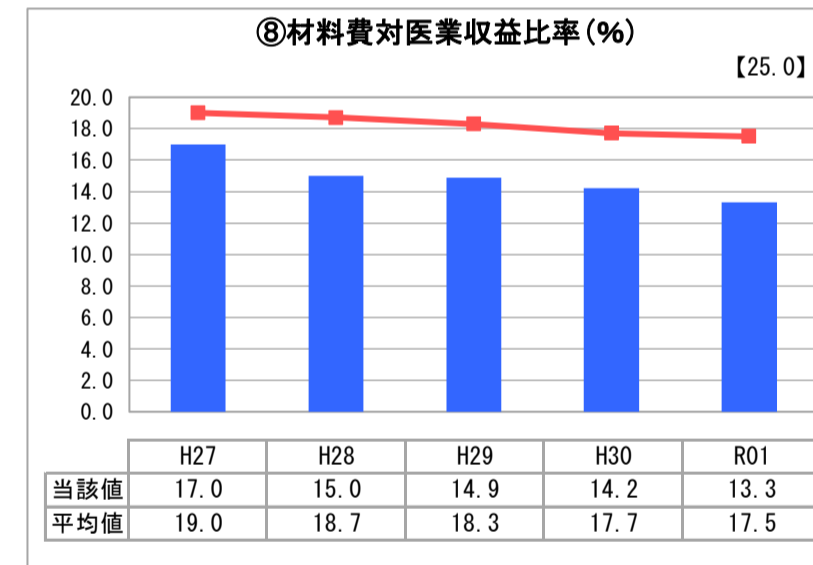
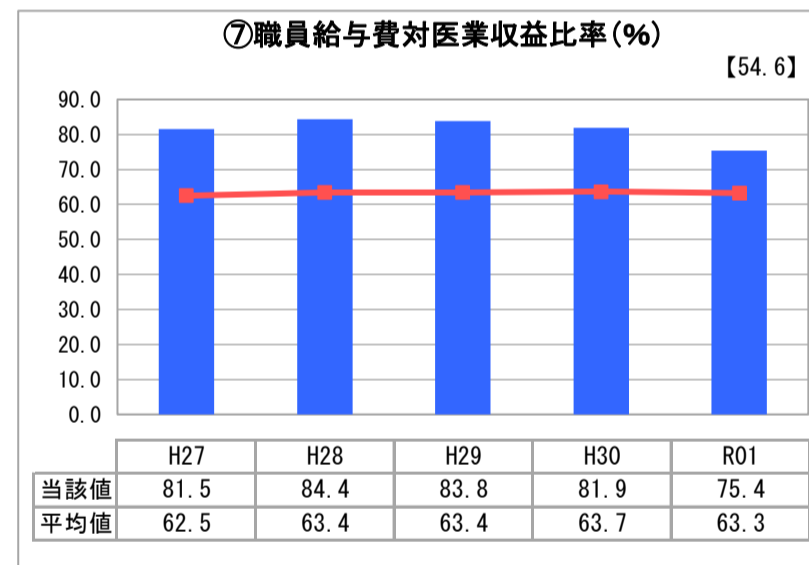
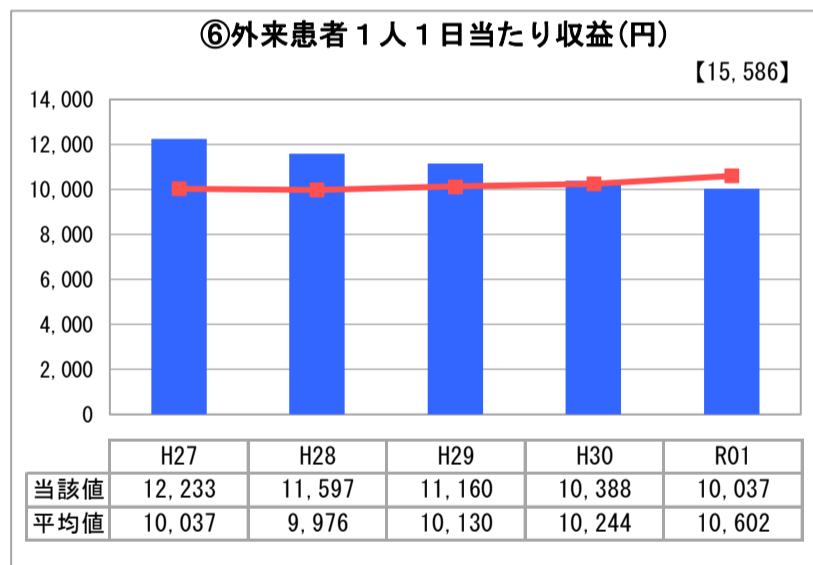
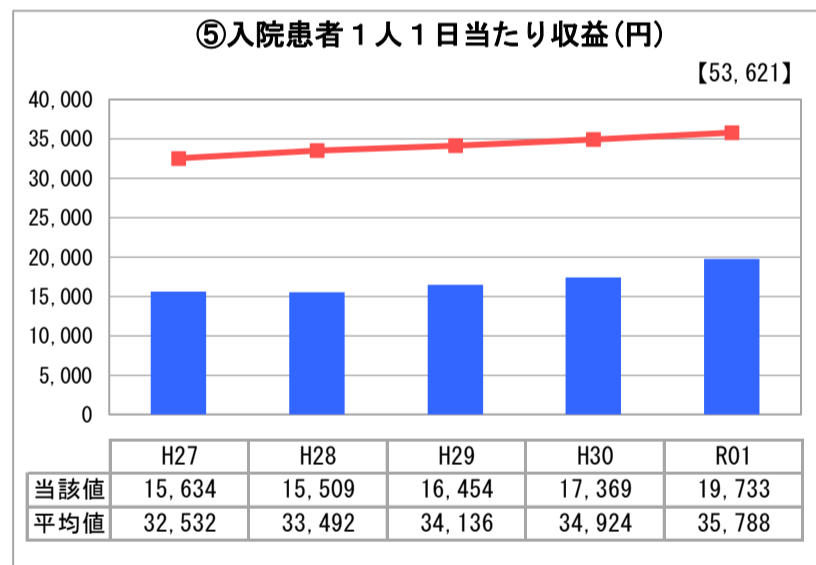
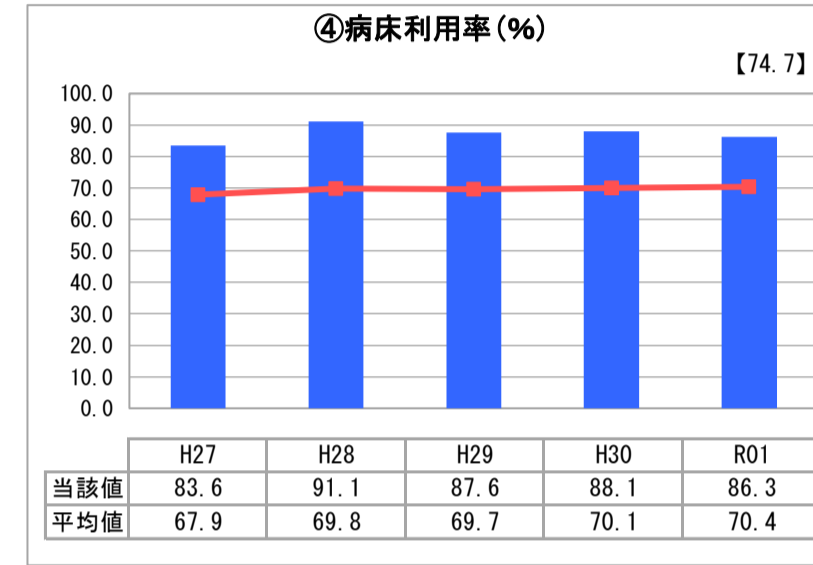
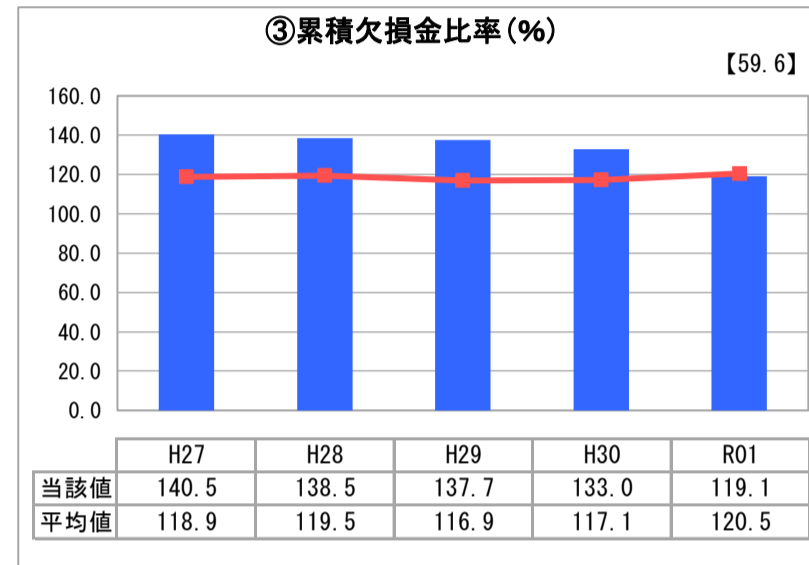
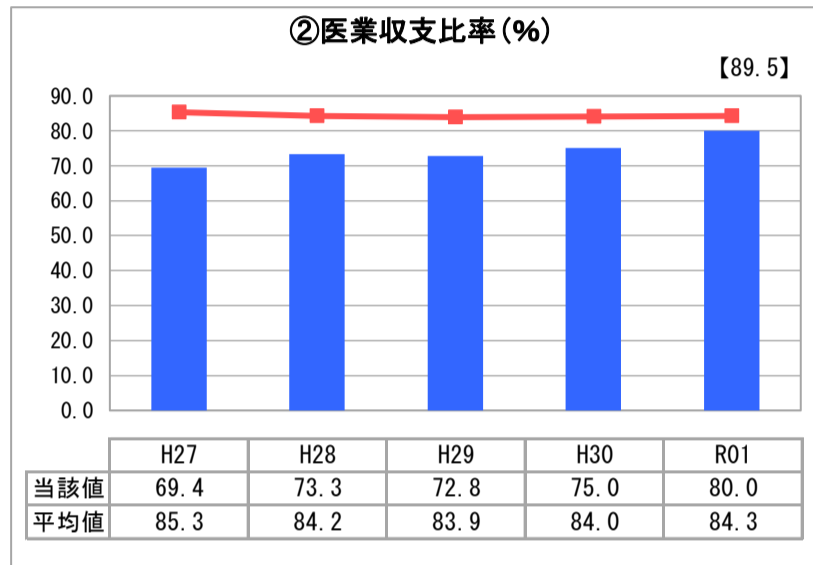
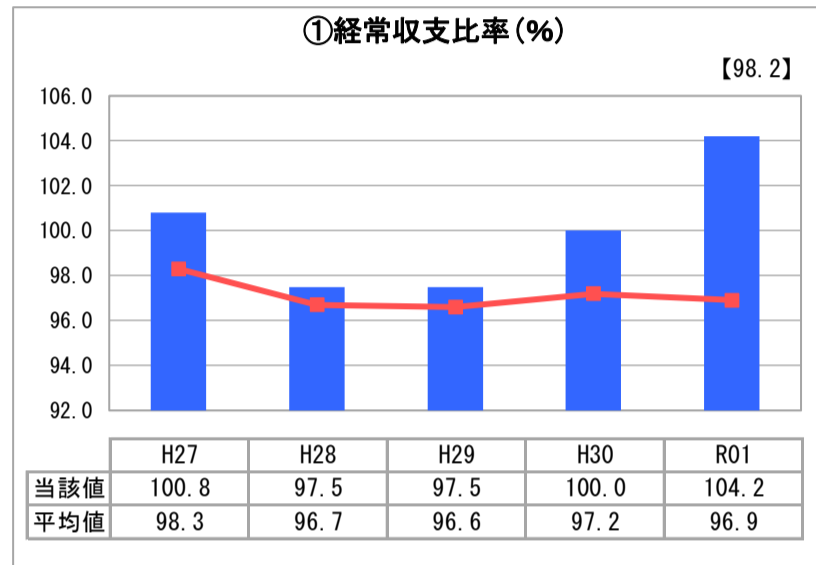
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

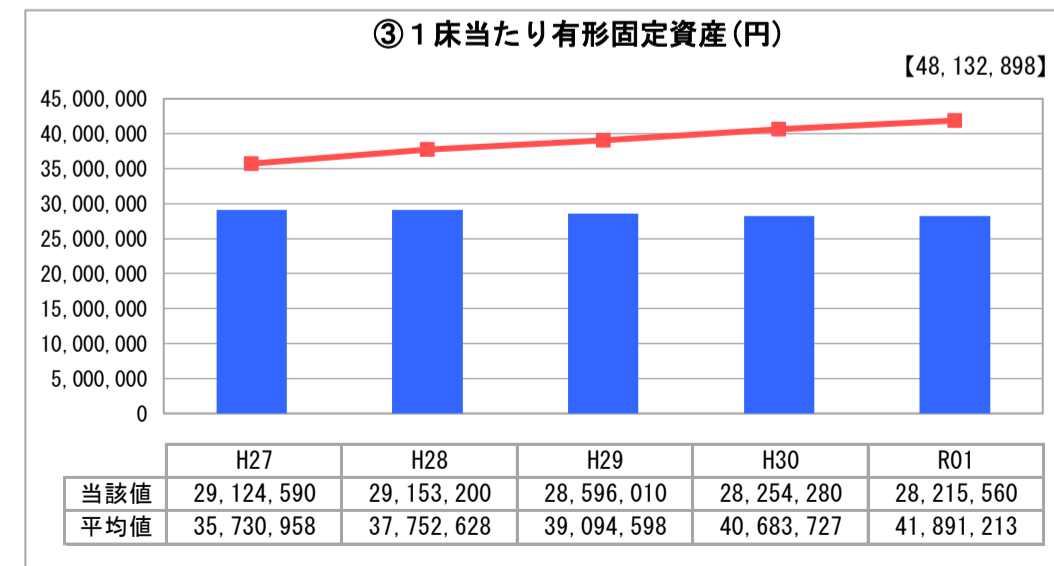
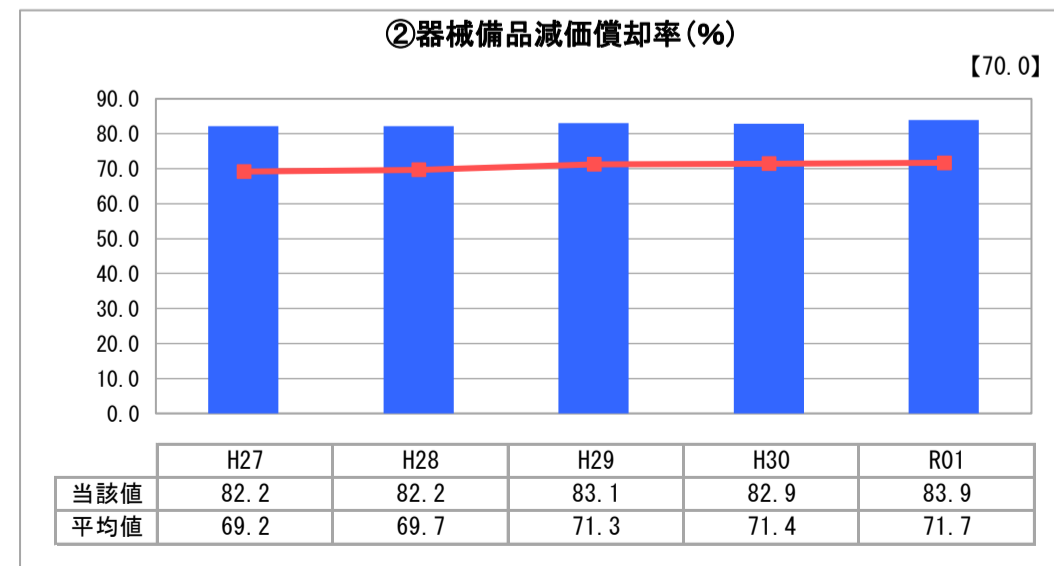
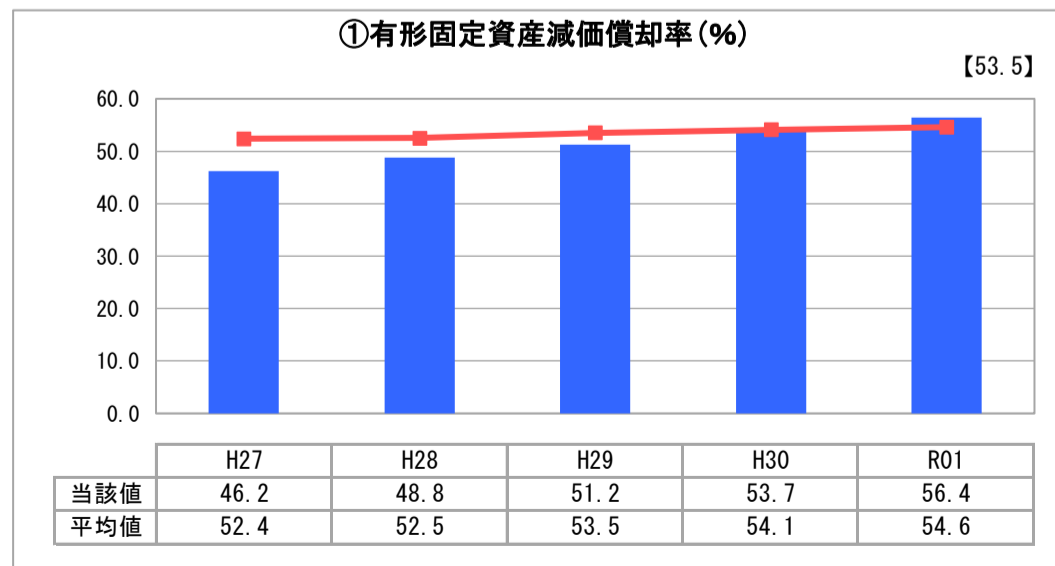
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
42	58	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
42	58	100

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

一次医療圏内で唯一入院機能を有する病院として、当院の果たす役割は重要なものである。今後も地域包括ケアシステムの中で有用な役割を果たすには、回復期・慢性期の入院機能の維持が必要である。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成31年2月から一般病床の一部を地域包括ケア病床としたことで、入院患者1人1日当たり収益が増加し、元年度決算では4,450万円の黒字計上となった。

費用面においても職員給与費対医業収益比率が、通常80%を超えていたが75.4%となり、医業収支比率が80.0%となった。

### 2. 老朽化の状況について

機械備品減価償却率が83.9%であり、医療機器等の老朽化は年々進んでいる。

## 全体総括

平成31年2月より地域包括ケア病床を算定しており、入院患者1人1日当たり収益が増となり、経常収支比率で104.2%となった。給与費の対医業収益比率は依然高いため給与費（経費とも）の抑制を進めていきたい。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。